

新善光寺寺報 北 縁

2015年10月

Vol. 30

ほくえん



じゅう や 十夜法要のご案内

十夜法要とは、浄土宗の最も大切な經典の一つ「無量寿経」の中に、
「此に於て善を修すること十日十夜すれば、他方の諸仏国土にして善をなすこと千歳するに勝れたり」

現代語訳 この世界で十日十夜の間、善行を修めることは、その功德は他の仏の世界で千年にわたって善行を励む功德よりも勝れている。

とあることに基づく法要です。

11月3日(火) 法要スケジュール

●午前 11 時～ 法話

…昼食休憩(お参りの皆様に用意しております)…

●午後 1 時～ 法要

※申込には同封いたしました振替用紙をお使いください。



当日はこのようなように塔婆に水向けしていただきます

新善光寺の十夜法要は“ココ”に注目！！

- ・ **双盤念仏** ～長い節を付ける独特のお念仏を唱えます。
- ・ **太鼓** ～木魚ではなく太鼓でお経を読みます。本堂に太鼓の音が響き渡ります。
- ・ **雅楽** ～笙・龍笛・箏(ひちりき)の三管による優雅な音色が広がります。
- ・ **回向** ～和讃(歌)を唱えてそれぞれお申し込みのお戒名を一霊位様ずつ丁寧に読み上げてご供養いたします。
- ・ **解説** ～法要ではモニターでスライドを使いお経を解説しながら進めます。

札幌市内近郊の16ヶ寺のご寺院様に参列いただき、見どころの非常に多い法要になっております。是非お参りください。

法話

“法然上人の御心 — 称えつづけて —”

けいの きょうぶん
慶野 匡文 師

神奈川教区三浦組光雲寺 住職

今回のご法話は総・大本山布教師として各地でご活躍されている慶野上人がお話ししてくださります。



昭和 34 年 東京都港区高輪(東京教区光雲寺)に生まれる
昭和 53 年 芝学園高等学校卒業
昭和 59 年 関西学院大学文学部日本史学科卒業
昭和 61 年 同大学院文学研究科博士前期課程日本古代史専攻修了
昭和 61 年～平成 7 年 大阪上宮学園教諭
現在 光雲寺第 21 世住職
増上寺布教師会副会長
光明寺布教師会副会長

光雲寺

〒 240-0105 神奈川県横須賀市秋谷4172
(1970 年代に東京から移転)
TEL 046 (856) 8362



本堂での法要の様子



十夜法要を初めておこなった真如堂



みやびな音色が響きます



一年の行事で一番お坊さんが多い法要です

工事完了報告

平成 27 年 4 月から開始しておりました本堂及び寺院建物外部大規模改修工事が 7 月 17 日に無事に完了いたしました。今年は例年より雪解けが早く、そして良い天候が続いたため順調に進んでいきました。

今回の工事は、お檀家の皆様から日頃ご志納いただいております護持費・並びにお布施などの浄財によりおこなうことができました。本当にありがとうございました。



現在の本堂が完成してから約 50 年、そしてお寺の建物が現在のようになってから約 30 年経過し、それ以降も明照幼稚園の閉園、宝塔（永代供養墓）・山門の完成など境内は時代と共に変化していきました。



この記事では工事の推移とそして昔の建物と比べて新善光寺の変遷をみていただこうと思います。

今回の改修工事は、本堂・新書院・和順殿・納骨堂・外塀の外部塗装工事がメインとして、本年 4 月から 7 月までの約 4 か月の工期をもって行われました。

長年の経年劣化の為、塗装のはがれもかなり進んでおり構造的なクラック（ひび）も多数見受けられる状況でした。そこで今回特殊な工法を用いて、各所クラックを補修し、塗装を行う工事を行いました。本堂においては飾り荘厳も専門業者に依頼し綺麗にしました。内部では応接室の合わせガラスの交換、納骨堂の照明を LED にするなど機能的な部分にも手をいれました。



明治 34 年 旧本堂完成
昭和 21 年 札幌大火により、
ほぼ全焼する
昭和 39 年 現在の本堂完成
昭和 55 年 客殿完成（現在の
寺院伽藍の完成）



火災前の山門



昭和 39 年 玄関



昭和 39 年 本堂並びに庫裏



右側の建物が明照幼稚園



昭和 40 年代 西側

今回、工事完了を記念してポストカード(3枚入り)を制作しました。

また、30号記念特典として、アンケートハガキをご記入いただいた方々全員に、明治頃における新善光寺の風景で特別制作したポストカードをプレゼントいたします。是非、ご応募くださいませ。



工事完了記念ポストカード



アンケートハガキ
ご記入者プレゼント

健康診断に行こう

慈啓会病院では、各種健康診断を実施しております。
かけがえのない健康のため1年に1回は健康チェックを！！

新善光寺が母体であり、中央区旭ヶ丘でスタートした社会福祉法人札幌慈啓会は病院も併設しております。病院の理念は“地域社会に根ざし 一人ひとりこころの支えとなる良質な医療を提供します”とあり、MRIをはじめ最新の設備をととのえ法人内の各福祉・保険施設とも連携し全人的な医療をおこなっております。

生活習慣病の専門病院を経営・運営方針として専門的な医療を行っていることから、今回は実際に筆者（太田真海）自らが「健康診断」を受診して、それを報告していこうと思います。

健康診断は基本的に3種類(A・B・C)あり、
企業健診などで用いられる一般的なBコースを受診しました。



さあ、まずは予約時間に合わせて病院に行きます。シャトルバスも出ていますよ。



次は胸部X線（レントゲン）です。上半身を着替えて撮影、すぐに終わりました。



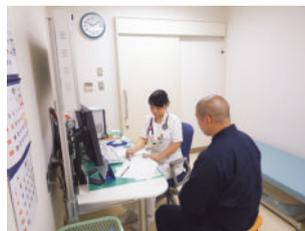
受付で必要事項を記入します。



そして聴力検査・心電図検査です。こちらもサクサクッと終わりました。



まずは血液検査で、採血をします。そして血圧・身長・体重・腹部周りをはかります。なぜか身長が10年前とくらべて少し伸びていました(笑)体重・腹部周りもですが…



最後に診察です。診断結果を見ながら先生が指導してくださいませ。結果は…。健康のためにはやはり定期的な健診が必要ということですね。若いからといって健康チェックを怠ってはいけなく、数値が出ますのでごまかしはききませぬ。

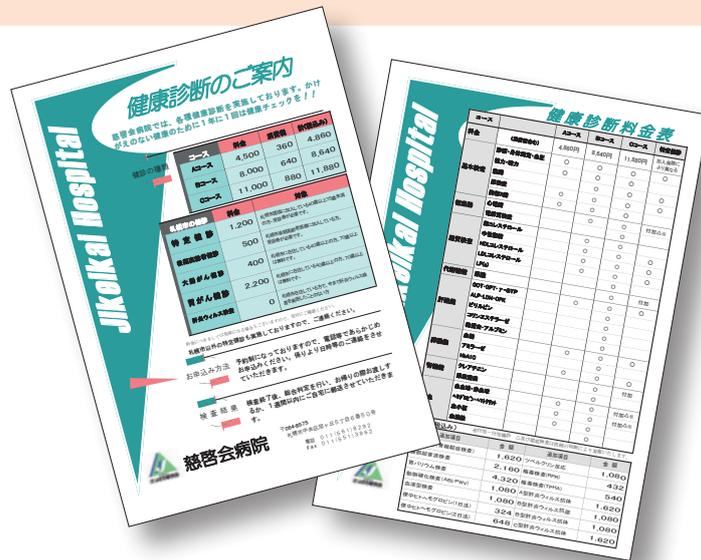
全体で大体1時間弱の健診で、検査はとてもスムーズに進みました。明るく開放感溢れる院内で快適に受診できました。色々和生活習慣を見直し、また受診しに行こうと思います。

健診後、金子哲也医事部長にお話しをお聞きしました。

慈啓会病院では各種健康診断をおこなっており、約 20 社程の企業様にも企業健診として受診いただいております。人間ドックにも力を入れており当病院には MRI・CT をはじめ最新の設備を導入しております。

また、オプション検査で頭部 MRI 検査を受けた場合のみですが VSRAD 検査という早期アルツハイマー型認知症診断システムも受けることができます。

生活習慣病に関して専門でもありますので、受診後も皆様の健康のために寄り添ったサポートができます。20 代、30 代の方でも 1 年に 1 度は健康のために健康診断を受けてみてはいかがでしょうか。どうぞご不明な点はお気軽にお問い合わせください。



{診療科目} 内科・老年内科・循環器内科・呼吸器内科・精神科・リハビリテーション科・放射線診断科

{受付時間} 平 日：午前 9 時～12 時／午後 1 時半～5 時
土曜日：午前 9 時～12 時
日・祝日・年末年始は休診日です

※事前にご予約されたほうがスムーズに受診できます。

社会福祉法人 さっぽろ慈啓会
慈啓会病院
札幌市中央区旭ヶ丘 5 丁目 6-50
電話 011-561-8292

慈啓会 検索

【新善光寺物語①】

先代住職悲願の山門を建立する ― ①

新善光寺の本堂は昭和 39 年に完成し、これより諸堂を順次再建し、檀信徒の皆様のご理解とご協力のもと大伽藍の整備を見るにいたりました。

先代住職太田隆賢はその新善光寺再建の総仕上げとして山門の造営を発願し、山門の様式は仁和寺の唐様様式として図面を依頼した段階で平成 4 年に遷化しました。その後、現住職太田眞琴はその遺志を継承し、先代の悲願であった山門建立への道を進むのでした。

山門の場所は、昔は木造二階建ての明照幼稚園ならびに園庭があった場所です。札幌市内中心部から人が減り、郊外へと移り住むドーナツ化現象が進み将来的な園児の減少を考え明照幼稚園は平成 3 年に閉園をして白石幼稚園と統合したのです。

設計は日本建築の第一人者である清水稔次氏に依頼し、建築は日本最古の会社である金剛組に決めました。平成 5 年 3 月に契約を成立し、翌年 6 月には、実際に木曾ひのきの伐採現場に赴き、確認をしてその木材を富山県で乾燥・基本造作をして札幌へと持ってきました。また彫刻・金具等は富山県砺波市の職人に依頼し、平成 6 年 4 月には加工材・彫刻検査に赴きました。

そして平成 6 年 5 月から建立のための組み立てを始めました。職人は富山県白井大工から呼んで多数来札し組み立てにあたりました。



加工材検査



総代会で実際に足場を上がり現場を確認



彫刻の検査



立柱式

お酒と浄土の教え

仏教では、基本的にお酒は飲まないほうがよいとされています。時にお酒は、人の心を惑わせます。心を乱し、他者を傷つけたり、または自らを損なうきっかけになってしまうこともあります。そうならないために仏教では、不飲酒戒ふおんじゆかいとよばれるお酒を避けるルールがあるのです。たとえば、道路工事でその道が通行禁止ということがあります。この場合の通行禁止は、後でより良い道を通ってもらうための工事です。つまり、今の“通さぬ”は、後の“通そう”ための工事なのです。このように仏教の“飲酒禁止”は、真実の道を歩んでくださいというお釈迦さまから私たちに対するエールと受け取ることができるのではないのでしょうか。



さて、法然上人ほうねんしやうにん（1133～1212）は、お酒についてどのような言葉を私たちに遺してくれているのでしょうか。百四十五箇條問答という問答集の中に、「酒のむは、罪とらにて候か。」という質問に対して、法然上人は「答、まことにはのむべくもなけれども、この世のならい。」とお示しこたうくださっている言葉が取められています。一見すると、“お酒を飲むのは世のならいだからしょうがない”という短絡的で享楽主義のような印象を受けるかもし

れませんが、同じ問答集に次のようなお答えがあります。「父母のさきに死ぬるは、罪もつしと申候しやうろうはいかに。答、穢土こたうのならい前後ちからなき事とらにて候。」私たちの命は、もっとも自身の身近なものでありながら、自身の思い通りにならないものです。穢土とは、私たちが今生きている世界、この世のことです。いかんともしがたいこの世の中、悲しみの絶えないこの世界に生きる私たち、その悲しみの末にたどり着いた「穢土こたうのならい」「この世のならい」という言葉に込められた思いに、法然上人の深く慈しみあるまなざしを感じます。

また、親鸞上人しんらんしやうにん（1173～1263）の言葉として「酒はこれぼうゆう忘憂の名あり、これをすすめて笑うほどになぐさめてさるべし」（『口伝鈔』）とあります。親鸞上人は、29歳のとき69歳の法然上人と出会っています。同じ浄土の教えを悦び、お念仏の中に悲しみの世を生き切ったお二人でありました。その親鸞上人が、お酒は憂うれいを忘れさせてくれると言ひ、悲しみのただなかにある人にそれをすすめて、少しでも笑顔になってもらひ、憂うれいのないお浄土を求めて、共にお念仏申しましょうと私たちに励ましてくださっているかのようです。

涙なしには生きてゆくことのできない私たち。その現実を生きる人の教えが、浄土の教えであると、法然上人と親鸞上人の言葉から拝察されます。浄土の教え



法然上人



親鸞上人

によって、お念仏を称えることによって、悲しみが消え去るわけではありません。生きるということは、悲しみの集合体のようなものです。しかしながら、浄土の教えを悦び、お念仏申す人は、その悲しみを通して本当の幸せを頂戴することができるのだと拝します。

〈文：立花 俊輔〉

シリーズ 仏事のおはなし

お勤めのはなし ⑧

・四誓偈 ②

今回は四誓偈の本文と書き下し、意識文を掲載していきます。

前回もお話ししたように、浄土宗の日常勤行の中で読むお経としては、最もポピュラーなお経ですので、是非中身をご理解いただけたらと思います。

原文の下は書き下し文。さらにその下に意識文を掲載していきます。

が ごんちようせいがん ひっし むじょうどう し がん ふまんぞく せい ふじょうしょうがく
我建超世願 必至無上道 斯願不満足 誓不成正覚
 われ超世の願をたつ 必ず無上道に至らん この願満足せずんば 誓って正覚を成ぜじ

私、法蔵菩薩は、世にすぐれた四十八の誓願をたてました。必ず最上の仏道に至ります。もし、この誓願が成就しなければ、誓って仏とは成りません。

が お むりょうこう ふ だいせいしゅ ふ さいしよびんぐ せい ふじょうしょうがく
我於無量劫 不為大施主 普濟諸貧苦 誓不成正覚
 われ無量劫において 大施主となって あまねく諸の貧苦を救わずんば 誓って正覚を成ぜじ

私が無量劫という長い時間において、大施主となって、もろもろの貧しく、苦しみにさいなまれている者を救えないというならば、誓って仏とは成りません。

が し じょうぶつどう みょうしょうちようじつぽう く きょう みしょうもん せい ふじょうしょうがく
我至成仏道 名声超十方 究竟靡不聞 誓不成正覚
 われ仏道を成ずるに至らば 名声十方に超え究竟して聞ゆる處なくんば 誓って正覚を成ぜじ

私が仏道を成し遂げるに至り、その名声が十方の世界にまで響きわたることがなければ、誓って仏とは成りません。

り よくじんしょうねん じょうえしゆぼんぎょう し ぐ むじょうどう い しょうてんにん し
離欲深正念 淨慧修梵行 志求無上道 為諸天人師
 離欲と深正念と 淨慧との修梵行をもって 無上道を志求して 諸の天人師とならん

欲望を離れ、深く正しい心を持ち、浄らかな智慧をきわめることにより、断欲行を修め、心からこの上ない覚りを求めて、もろもろの天界の人々の導師となりましょう。

じんりきえんだいこう ふ しょう む さい ど しょうじょうさん く みょう こうさいしゅうやくなん
神力演大光 普照無際土 消除三垢冥 廣濟衆厄難
 神力大光を演べ あまねく無際の土を照らし 三垢のやみを消除して 広く諸の厄難をすくい

はかり知れない力で大なる光を放ち、この世をあまねく照らして、三つの垢（貪り・怒り・愚かさ）の間を取り除き、広く厄難に苦しむものを救い、

かい ひ ち え げん めつ し こんもうあん へいそくしよあくどう つうだつぜんじゆもん
開彼智慧眼 滅此昏盲闇 閉塞諸惡道 通達善趣門

かの智慧の眼を開いて このこんもうの闇を滅し 諸の惡道を閉塞して 善趣の門に通達せしめ

人々の智慧の眼を開いて、その暗い闇をなくし、もろもろの惡の道を閉じ、善き世界に導き、

くう そ じょうまんぞく い よろうじっぽう にちがつしゅうじゅう き てんこうおんぶうげん
功祚成満足 威曜朗十方 日月収重暉 天光隱不現

功祚満足することを成じて 威曜十方に朗らかなり 日月重暉をおさめ 天光も隠れて現ぜず

功德を完全に満たして、その威光を十方にまでいきわたらせませす。その威光の前に太陽と月の輝きは見えなくなるほどで、天界の光さえも隠れて消えてしまうでしょう。

い しゅうかいほうぞう こう せ くどくほう じょう おだいしゅうちゅう せっぽうし し く
為衆開法藏 広施功德宝 常於大衆中 説法師子吼

衆の為に法藏を開いて 広く功德の宝を施し 常に大衆の中に於いて 説法獅子吼したもう

人々のために仏法の藏を開いて、広く功德の宝を施し、いつも多くの人々の中で、獅子のような気高い声で仏法を説きます。

く よういっさいぶつ ぐ そくしゅうとくほん がん ね しつじょうまん とく い さんがい お
供養一切仏 具足衆徳本 願慧悉成満 得為三界雄

一切の仏を供養し諸の徳本を具足し願慧悉く成満して三界の雄となることをえたまえり

すべての仏を供養し、多くの功德をそなえ、誓願と智慧をすべて満たし、三界（欲界・色界・無色界）雄者となります。

によぶつ む げ ち つうだつ み ふしやう がん が く えりき どう し さいしやうぞん
如仏無礙智 通達靡不照 願我功慧力 等此最勝尊

仏のむげちの如きは 通達して照らしたまわずということなし 願くは我が功慧の力
 この最勝尊に等しからむ

仏の智慧の光が行きわたるように、私の智慧の光もどこまでもいきわたり照らしつくさない所はありません。どうか私の功德の力によって、最も勝れた仏（世自在王仏）と等しくなりますように。

し がんやくこっ か だいせんおうかんどう こくうしよてんにん どう う ちんみやう け
斯願若剋果 大千応感動 虚空諸天人 当雨珍妙華

この願もし剋果せば 大千まさに感動すべし 虚空の諸の天人 まさに珍妙の華をふらすべし

この誓願が実現する時、世界は感動し、空に舞う天人たちは、美しくみごとな華々を雨のようにふらせるであります。

いかがでしょう。お経の意味が解れば、お勤めしていても、より深く信仰の気持ちか沸いてくると思います。是非日々のお勤めの中で、内容を感じながら実践いただけたらと思います。

今回は、誦経の読み方、唱え方、また「鳴らしもの」についてお話ししましょう。

ズッコケ尼さんの仏教こぼれ話⑪

〈ばあばから子どもたちへ〉

こまきね きんしょう
駒木根 琴生



大きな仏事（お盆・秋彼岸）の終幕に添う様に風が変わり、季節の移ろいを感じる。

ところで、皆さんはお寺にお参りいただけましたでしょうか。昨今、お寺離れが囁かれるようになりましたが新善光寺のお盆期間は大変な参拝者だった。いつもながら、ご家族揃っての姿が変わらないのがうれしい。杖で歩くお祖父ちゃんを肩で支える高校生、ようやく首が座ったばかりのひ孫を抱くお祖母ちゃん、お供物運びを手伝うお嬢ちゃん等々、実に微笑ましい光景が多かった。お浄土より還られたご先祖様の感謝が伝わってきた。

今回のお盆で初めて準備したキッズルームは好評だった。子ども達の楽しげな遊び声と本堂から聞こえるお念仏の声がお寺に響き渡っていた。中には泣き続ける1歳半の妹に色々心遣いするお兄ちゃんの優しさは印象深かった。因みに子供の言葉の数は2歳時に260語、3歳になると「三つ児の魂百まで」のことわざ通り、相手に意志を伝えられる800語に増える。泣き続けた女の子もお喋りができて、やがて美しい花嫁さんになった後には母の大変さも兄の優しさもわかるようになるに違いない。お寺での時間は「知恩」を知る良い機会だと思う。肉親のほかにも多くの人々に因り助けられて、生かさせていただいているのが私達である。



お釈迦さまは人間として生まれることの難しさを、高い天空より一本の細い糸を垂らして大海の底にある小さな針の穴に通すがごとしと、例えている。又、人間として生まれたことの尊さに気づく者はインドの広いガンジス川の砂を爪の上に乗せられる程の極々まれの数と説いている。

生きとし生ける全ての者の命は尊いという「天上天下唯我独尊」の教えを改めて噛みしめてほしいと念ずる。

近年、少年少女たちの痛ましい事が相次いでいる。仲間同士で傷つけあい、果てには命を奪ってしまったり、又、世界に目を向けてもシリア難民の幼子の死などである。輝かしい明るい未来が途絶えた事は実に痛ましい。かくいう私も、長男に命の大切さと人間として生まれた尊さを伝えられぬままに死なせてしまった。悔いて悔いて、申し訳ない思いで心を閉じたままの愚かな母を阿弥陀仏の本願他力が働いてお念仏者にさせていただいた。私にも2人の孫がいる。彼らにも又、次の世代の子ども達にも自身の命と隣の友達への優しさを忘れない為にも、毎日お念仏申し続けるよう伝えなければと痛感する。

“人として生まれきたりし幸せを 弥陀のみ前でじっと見つめる”

— お檀家タウンページ ~ともいき訪問⑦—

やきとり 錦 (にしき)

今回はすすきのにあります、およそ60年続く老舗の焼き鳥店「錦」さんに行ってきました。

こちらはお檀家さまであります中井節子様のご主人が昭和32年に創業し、昭和39年に南3条西2丁目から現在のビルに移転しました。中井家様と新善光寺との付き合いは古く、ご子息の武彦様は明照幼稚園に通われていました。

取材時は午前11時、ちょうど仕込み中に伺い、弟の滝田康夫様にお話しをお聞きしました。早い時間に仕込みをして開店準備を済ませ一旦自宅に戻り、そして夕方にお店を開けるということで、このことによりダラダラせずしっかりとメリハリを付けられるとおっしゃっていました。

そして夜にもおじゃまをして焼き鳥をいただきました。鶏肉は北広島を中心とした地鶏、豚は滝川、牛は白老や厚真のものを仕入れるなど肉はすべて道産のものを使用し、岩手の黒炭・白炭でおこした火は、肉・魚・野菜など食材に合わせて微妙に加減され、その技術は熟練ものです。店内は広くて座敷もあり全70席、カウンター席は焼き場の目の前、炭火で焼かれた肉の香ばしい香りが漂ってきます。鶏精肉は3本270円、そして名物の手羽先は3本450円で皮はパリッと中はジューシーでビールに合います。お酒も北海道の地酒、焼酎と各種揃えられています。また、おかみの節子様お手製の漬け物も絶品です。

開店は17時からと早く、ふらっと立ち寄れる優しさ溢れる雰囲気店内でした。どうぞ炭火の匂いに誘われて、美味しい焼き鳥を味わいに足を運んでみてはいかがでしょうか。ご機嫌になること間違いなしです。



やきとり 錦

〒060-0063 札幌市中央区南3条西3丁目第6桂和ビル1F

TEL: 011-231-6406

営業時間: 17:00 ~ 23:00 (ラストオーダー 22:30) 日曜・祝日休

地下鉄南北線「すすきの」駅より徒歩2分 (新善光寺から徒歩4~5分くらい)

職員を紹介します



いしやま ゆうどう
石山 祐道

昭和43年6月11日 長万部町生まれ

道南は名物のカニめしと、昭和の喜劇俳優由利徹さんのギャグで全国的にも知名度が高い長万部町の出身です。

実家は善導寺というお寺で、色黒でよく喋る住職と、色白で物静かな母親との間に長男として生まれました。

二代目ご住職林玄松さんの下で祖父も勤めたご縁のある新善光寺には、平成7年5月より勤めさせていただいております。

一度退職し、大阪は今里にある洗心寺というお寺に勤めた後、鮭のようにカムバックし現在に至ります。

大阪は何かと習慣が違ったために驚きの連続でした。月参りでは「そこ違うで」「今日は何点やな」などとツッコミが入ったり、法事のときにヒョウ柄などの派手な服装で参る方がいたり……全てが貴重な体験となりました。

これまで多くのお方々の支えやおかげさまがあったからこそ今の自分があります。そのご恩に報いるためにも大切な人を亡くされたお方、不安や苦しみを持つお方々に対して、少しでも笑顔と安心感を与えてあげられるよう日々勤めてまいります。



自坊の長万部 善導寺



入った当初の集合写真（後列右から2番目）



婦人会の旅行で



慈啓会 稲寿園の地鎮式で

職員を紹介します



たちばな しゅんぶ
立花 俊輔

昭和 55 年 3 月 5 日 美幌町生まれ

私は元々は在家出身で、なぜか幼い時から仏教に興味を持っておりました。実家が浄土宗の美幌善立寺の檀家で、その縁で当時の住職加藤弘導師（新善光寺で勤めておりました加藤正導師のお兄様）の弟子にさせていただきました。京都の佛教大学に進み、書道部に入部していました。

そして平成 15 年の 3 月より新善光寺に勤め、12 年あまりの月日がたちました。今、その月日を思い返してみると、さまざまなことが思い出されますが、その一つにうれしい思い出があります。私が勤めて 3 年がたった頃でしたでしょうか。お檀家のお一人が、思い掛けず“立花さん”と声をかけてくださいました。そのとき私は、私のことを覚えてくださったのだという思いと同時に、なにか一人格として認めてくださったかのような温かな感覚に包まれ、大変うれしく感じたのを覚えています。人は誰も、それぞれの人格をもっています。そのたった一つの人格が、ありのままに認められたとき、人は安心を得るのではないのでしょうか。そのような思い出を頂いたことに感謝しつつ、これからもその思い出を胸にいだきながら、日々のお勤めに励んでいこうと思います。

ところで、思い出と言えば、平成 22 年の秋に団体参拝旅行と称して、お檀家の方々と共に京都の知恩院さんにお参りしたのも印象深い思い出です。また、今年の春には、長野の善光寺さんにもお参りできました。ご開帳の賑わいの中、私も回向柱に触れ、如来さまを感じさせていただきました。その時の自詠を一首披露し、私の紹介といたします。

人々の 喜怒哀楽を 受け止めて 回向柱は 土に還らん



昨年ご遷化された根府上人と



定期法要では法話も担当しています

《宮の沢別院から》

どんりゅう上人伝⑤「子育てどんりゅうさまと呼ばれる由縁」



1600年頃の曇竜上人は修行と念仏を広める日々を続けていました。そうしていくうちに曇竜上人はその名が広く知れ渡り、請われていくつのお寺で住職につくことができました。それぞれのお寺で念仏信仰への

仏の導きと加護、そしてその喜びを一人でも多くの人々に伝えるために、全身全霊をそそぎ毎日を過ごしていました。

次第に、お互いに助け合うという仏の教えを伝えて人々の心を安らかにし、当地の侍や名主、町の人から知恵と慈悲の生き仏様として、深く信頼され帰依を受けるようになりました。

一方、近隣の子供たちを集めては仏様の教えをやさしく聞かせ、人としての常識や学ぶことの尊さなどを説いて、幼い心に大きな光をともしつづけていったのでした。名利の住職になってからも、変わることなく、特に弱い立場にある人や幼い子供たちにも、お慈悲の心を伝えていきました。

現在でも「子育て呑龍さま」として知られているのは、こうした積み重ねがあったからなのです。

『修正会のご案内』

宮の沢別院では来年の**1月2日**に修正会並びに新年大祈願法要を行います。詳細は同封資料内の別院封筒をご覧ください。どなたでもご参加可能です。新しい一年の幕開けに是非お参りください。



修正会に関するご質問は宮の沢別院にお問い合わせください。

札幌市手稲区西宮の沢5条1丁目19-35
新善光寺 宮の沢別院

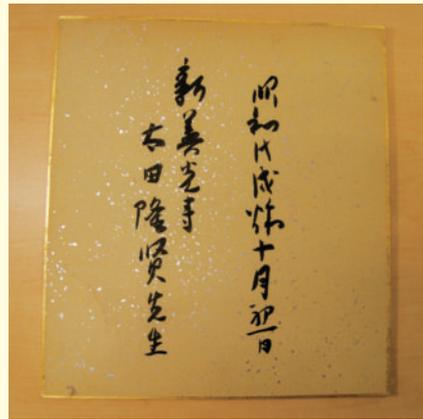
TEL 011-668-5110

お寺の額縁を紹介します③～色紙編

せ けんそうじょうじゅう
5 世間相常住 (今東光 師 筆)

本堂の階段を上がる手前のところに、ひっそりと色紙額がかけられています。この書は、天台宗の僧侶であり、瀬戸内寂聴師の師僧である今東光師（1898～1977）の作です。「世間相常住」と書かれてあります。今、私たちが生きる目まぐるしく変化する悲しみの絶えない現実世界と、やすらぎに満ち変化することのない仏さまの世界は、究極的に同一であるという意味です。この「世間相常住」という言葉は、『法華経』の中にある言葉で、天台の教えの根幹をなすものです。この解釈は、ときとして単なる現実肯定におちいりやすい側面をもっていますが、仏教の教えの深さを物語る貴重な言葉です。

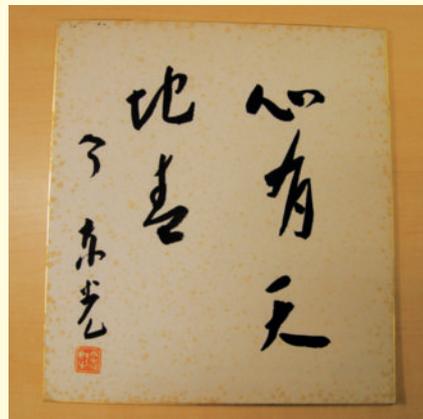
さて、この色紙の裏書きをみると、今東光師が当山の先代住職太田隆賢に贈られたものであることがわかります。



6 心有天地春 (今東光 師 筆)

また、当山には、もう一枚今東光師の書が伝わっています。こちらは非公開ですが、今回写真にてご披露いたします。「心有天地春」という書で、心に天地の春ありと読み、漢詩の一節です。

これから日ごとに寒さがつのりますが、お念仏という^{ともしび}灯火を持って、心は春のように^{ほが}朗らかにありたいものです。



北縁 なんでも Q & A

今回は、いつもお寺に電話で寄せられている質問で多いものを取り上げたいと思います。

Q：ご不幸や法事の際に持参するお供えの「のし」や、「封筒の表書き」について教えてください。

A：ここでは一般的な習慣でお答えしますので、参考にしてください。

通常葬儀へ持参する場合は「御霊前」。四十九日以降の法事などでは「御仏前」を使用します。お供えものは「御供」や「御供物」などを使用します。葬儀や法事の際の封筒の表書きは、「御香典（香奠）」「御香料」「供花（菓）料」でもよろしいと思います。

また、不祝儀の水引の色は、葬儀などでは「黒白」。忌明け（四十九日以降）の後の仏事、その他全ての仏事で「黄白」「銀（双銀）」を用います。神式、キリスト教の葬儀の時は「白一色」の水引（双白）が用いられます。

— 永代供養墓のご紹介 — 心は極楽に 身はここに

境内の北側にひときわ目立つ配色、形の建造物があります。「北向地藏尊」が奉安されている「宝塔」です。今回はこの「宝塔」を皆さんに改めてご紹介します。

当山の「宝塔」は「永代供養合葬墓」になっています。これは個々のご供養の継承が困難になった方の代わりに、お寺で供養を行い、合祀の状態^{いごつ}で遺骨を永代にわたり収蔵するお墓です。

「宝塔」とは仏様を奉るための仏塔、また仏教の墓の形として用いられた建造様式です。当山の宝塔は、地下部分が合祀墓になっています。供養の継承が難しい方や、この新善光寺の境内地に埋葬を望む方など、現在約 130 霊位の精霊様が眠っています。

昨今では永代供養・合葬墓という形も一般的に知られるようになり、従来の供養やお骨の管理の在り方から、この宝塔を選択肢としてお考えになる檀信徒の方も増えてきました。

当山では、この慈悲心深き「地藏菩薩」のもとに安置を希望される方、またはご先祖様の安置を希望される方のご相談を随時行っております。



※ご相談はお電話、メール等で承っています。

電話 011 (511) 0262 Eメール s-zenkoj@crux.ocn.ne.jp

時間 9:00 ~ 17:00

※来寺されてご相談される方は、事前にご連絡ください。

担当 副住職

〈行事予定〉

10月 2日～4日	第2回鴨々川ノスタルジア
10月 7日(水)	秋のレクリエーション「日帰り寺院参拝旅行」
11月 3日(火)	十夜法要
12月11日(金)	仏名会
12月31日(木)	除夜の鐘
1月 2日(土)	宮の沢別院修正会並びに新春大祈願法要

〈仏教体感〉

この一年を振り返り年末に念仏を称えながら礼拝をして、身も心もきれいに祈念しませんか？どなたでもご自由に参加いただけます。

仏名会(ぶつみょうえ)

日程：12月11日(金)

時間：13：00～(30～40分の予定)

法話(お坊さんによるお話し)5～10分

法要 法話の後すぐ始めます

参詣の皆様にはお坊さんと一緒に無理のない範囲で礼拝(立ったり座ったりします)をしていただきます。



除夜の鐘をつき、この一年を省みて煩惱を除き、清らかな心になって新しい年を迎えませんか？

- ・撞いてくれた方には絵馬を進呈します
- ・休憩所には甘酒のサービスもあります

除夜の鐘

日程：12月31日(木) 時間：23時45分頃～
整理券をお配りしています、混雑状況によりご家族皆さんで撞いてもらう場合もあります。



“新善光寺 除夜”
(昨年の様子を公開しています。)



〈東京別院・霊源寺より〉
品川区にある霊源寺は新善光寺住職が兼務しており、春・秋彼岸には法要も行ってまいります。東京近郊でご供養（お葬式・納骨・法事など）をお考えの方はご連絡ください。



都心の静寂
安心なご供養

永代型納骨壇
50万円より
(2室取付可能)

霊源寺納骨堂「博真閣」
宗旨・宗派は不同 どなたもお求めいただけます

大光山 霊源寺 受付時間 9:00~19:00 毎日見学受付中

東急目黒線・不動前駅 徒歩7分(桐ヶ谷斎場真向かい) 〒142-0063 東京都品川区荏原 1-1-2
TEL:03-3494-1083 FAX:03-3494-6319 大光山霊源寺 検索

納骨堂をリフォームしました

地下納骨壇の扉金具に若干さびが浮かんできていましたので専門業者に依頼して補修をおこないました。空き状況は随時変わってまいりますので納骨堂についてのご質問は、電話またはメールにてお問い合わせください。

(担当：副住職)



編集後記

今回で30号に到達です。これもひとえに皆様のご理解、ご協力のおかげと考えております。これからもご愛読をお願いいたします。記念プレゼントとして限定ポストカードを用意しておりますので、是非アンケートをご記入いただければと思います。

次回は1月上旬発行予定です。それまでお寺の情報はホームページやブログやツイッターなどで、随時お知らせいたしますのでそちらもご覧ください。

(海)

新善光寺

検索